



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第105号 R5. 11. 20

1人1台タブレット端末を使用して教室から国際交流 ～「グローバル人材の育成」吉川中学校3年生の実践～

10月27日（金）に吉川中学校3年生が1人1台タブレット端末を使用して、オンラインで英語での交流を行いました。午前の部は、3年1組の生徒とインドネシアの生徒が交流を行い、午後の部は3年2組の生徒とインドの生徒が交流を行いました。

<主な交流内容>

- ① 日本と外国の先生からのあいさつ
- ② アイスブレイキング(文化に関するクイズ)
- ③ 興味のあることについての紹介
- ④ 日本と外国の代表生徒のあいさつ

午前の部は、1対1での交流で、午後の部は3～4人のグループで行われました。他に頼る人がいない状況で英語を話す1対1の交流は、生徒にとってはドキドキです。日本での生活の中では、なかなかできないことです。しかし、インドネシアの生徒と共通の趣味が見つかる、会話がとても弾んでいました。「自分の英語が通じた」「もっと英語で話したい」「そのためにはもっと英語を勉強しないとイケない」と、モチベーションが高まったことでしょう。

インドの中学生との交流では質問し合ったり、お互いの国の文化を紹介し合ったりしました。「日本では、学校で日本語を話すのか」という質問があまりました。「日本の学校なのだから、日本語で話すのが当たり前」だと子どもたちは思っていました。30近い言語が話されているインドでは、公用語であるヒンズー語と準公用語の英語が学校で話されていることがわかりました。どのような質問が出てくるのか、楽しみながら交流ができました。



ウォーミングアップでインドと日本のクイズに挑戦



少人数グループに分かれて自分が興味のあることの紹介



茶道と和菓子についての紹介

とよのを知ろう とよのを学ぼう ⑦ 「とよの未来科」の実践始まる

「ヤーコンを育てよう」(東ときわ台小学校)

東ときわ台小学校の3年生は、学習園で豊能町の特産品であるヤーコンを育てています。あまり聞きなれない野菜ですが、形はサツマイモとよく似ていて、豊能町では給食の食材としても使われています。ひかり幼稚園から株を分けていただき、ヤーコンを育てたご経験のある地域の方を学校に招いて、ヤーコンの特徴や育て方など様々なことを教えていただきました。

3年生は、ヤーコンの成長する過程の記録を付けたり、大きくなったヤーコンと同じ大きさのテープを記録用紙に張ったりして、収穫するのを楽しみにしていました。

そして、10月末にようやく収穫。とても大きく育ったヤーコンを抜くのに一苦労していましたが、班で協力して大きなヤーコンの株を抜くことができました。

収穫したヤーコンをどうしようか、現在思案中です。



(ヤーコンの株植え)



(一つの株にたくさんなっています。)



みんなで一緒に掘りました。



成長の記録を付けて、教室に掲示しています。

東能勢小中学校～保育体験実習 in ふたば園～

11月10日（金）に東能勢中学校9年生がふたば園にて保育体験実習を行いました。最初に9年生とふたば園児がペアを組み、対面式が行われました。お互いに緊張した面持ちでしたが、「ギョギョギョギョダンス」や「じゃんけん列車」を一緒にしていくうちに表情が柔らかくなりました。様々なあそびをする園児に寄り添った優しい9年生でした。



対面式



ギョギョギョギョダンス



じゃんけん列車



ブロックあそび